

## 記者会見次第

### ベトナムからの高度 IT 人材獲得に向けた連携協定締結式 及び （株）インプルの進出表明会見

1 日 時 令和6年9月10日（火）10：55～11：30

2 場 所 北九州市役所本庁舎4階 記者会見室

3 次 第 10:55 協定締結式

① 出席者紹介

② 武内市長 ご挨拶

③ （株）プラスアドグループ 片山代表取締役 ご挨拶

④ NiX Education JSC グエンCEO ご挨拶

※JSC・・・Joint Stock Company

⑤ 事業概要説明（（株）プラスアドグループ 片山代表取締役）

⑥ 協定書署名

11:18 （株）インプル 若宮COO ご挨拶および進出表明

11:23 質疑応答

11:28 写真撮影

11:30 終了

#### 【問い合わせ先】

産業経済局 国際ビジネス戦略課

課長：川崎（かわさき）、係長：加藤

TEL：093-551-3605

令和6年9月3日  
北九州市産業経済局

**市内企業・ベトナム企業・北九州市がタッグ**

**ベトナムの大学と連携した高度 IT 人材獲得事業を開始！  
国内 IT 企業(本事業の利用第一号)の北九州進出が決定！**



高度人材を必要とする IT 企業の人手不足解消を支援するため、市内の人材開発会社「株式会社プラスアドグループ」とベトナムの IT 人材育成企業「NiX Education JSC (\*Joint Stock Company)」が連携し、ベトナムの5大学で IT の専門知識と日本語をパッケージ化した教育プログラムを実施し、北九州市での就職に結びつける事業を開始します。

また、北九州市は、上記2社と連携協定を結び、情報提供や定着支援等を通じて本事業を後押しします。

下記の通り、本事業にかかる 連携協定締結式 を行いますので、皆様にはぜひ取材にお越し頂きますようお願いいたします。

また、本事業の利用第一号として、国内の IT 企業「株式会社インプル(本社札幌市)」が 北九州市への進出を決定しましたので、同社の同席の下、併せて記者会見の中で発表させていただきます。

記

1 記者会見の概要

(1) 日 時 令和6年9月10日(火) 10:55~11:30

(2) 場 所 北九州市役所4階 記者会見室

(3) 連携協定締結式登壇者(敬称略)

- 株式会社プラスアドグループ 代表取締役 片山 正之
- NiX Education JSC CEO グエン・チョン・ニア
- 北九州市長 武内 和久

(4) 進出表明(敬称略)

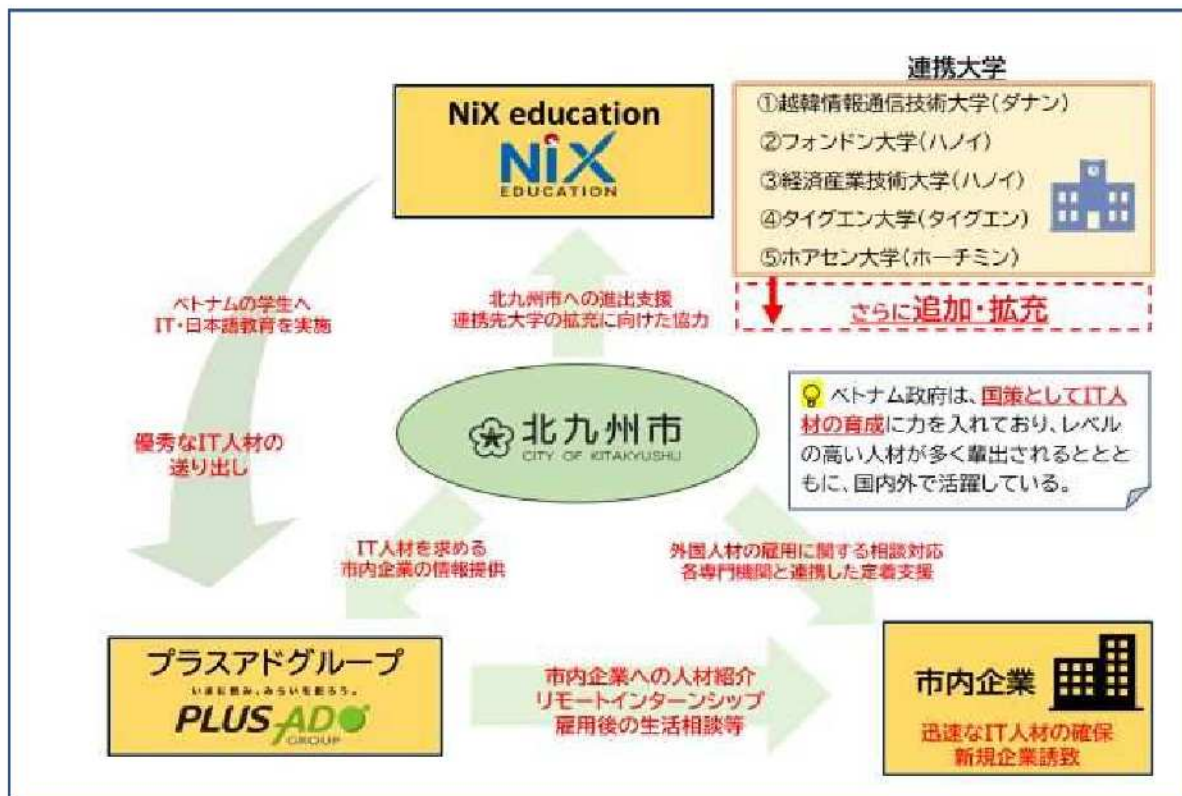
- 株式会社インプル COO 若宮 敬介

2 本件に関する関連情報

別紙資料をご参照ください。

【問合せ先】産業経済局国際ビジネス戦略課  
課長:川崎(かわさき)、担当係長:加藤  
TEL:093-551-3605

事業スキーム(概略図)



【連携協定締結企業】

① 株式会社プラスアドグループ

北九州市に本社を置く総合人材サービス企業。グループ各社の特色を生かした「地方創生・観光」「DX・HR テクノロジー推進」「イベント・エンターテインメント」事業を推進している。

代表者名	片山正之(かたやま まさゆき)				
本社所在地	北九州市小倉北区室町				
創業年	1992年	資本金	2,000万円	従業員	31人(グループ総数101人)
協定上の役割(主なもの)	市内企業への営業(インターンシップ受入・就職先の開拓) NiX への市内企業紹介 市内企業・ベトナム人双方への定着支援 等				

② NiX education JSC

日本の IT 業界にルーツを持つ教育系ベンチャー企業。「世界に通用する人材を育てる、届ける」をビジョンに掲げ、「日本企業の即戦力となる実践的な教育」を推進する。

代表者名	グエン チョン ニア				
本社所在地	ベトナム・ハノイ市				
創業年	2022年	資本金	26億6700万ドン(約1,600万円)	従業員	14人(グループ総数800人)
協定上の役割(主なもの)	連携大学の開拓 学生募集、人材育成(IT・日本語教育)、プラスアドへの学生紹介				

## 【進出決定企業】

### ③株式会社インプル

創業時よりスマートフォンアプリおよび WEB アプリケーション、システムインテグレーションで成長する IT ベンチャー企業(IPO 準備中)。本事業利用第一号として北九州市への進出を決定。

代表者名	西嶋裕二(にしじま ゆうじ)				
本社所在地	北海道札幌市				
創業年	2011年	資本金	2,480万円	従業員	153名
特記事項	2023年、NiXと業務資本提携。プラスアドとNiXによる事業展開を契機として北九州市への進出を決定した。2025年には、本事業を活用し北九州オフィスでベトナム人工エンジニアの雇用を開始する予定。				

## 【連携先の5大学】 ※事業開始後、さらに連携先を拡充予定

① 越韓情報通信技術大学 (ダナン市)	2020年1月設立。国家重点地域大学であるダナン大学の傘下で、情報技術、通信、デジタル経済分野の研究、トレーニングを提供。現在約6,000名の学生が在籍。
② フォンドン大学 (ハノイ市)	1994年、ベトナムの私立大学では初期に設立された。情報通信学部、経済学部、外国語学部(英語、中国語、日本語)、建築学部、バイオテクノロジー&環境学部、電気・メカトロニクス学部を有し、現在約9,000名の学生が在籍。
③ 経済産業技術大学 (ハノイ市)	2007年9月に設立された国立大学。職業教育学部、食品技術学部、経営・マーケティング学部、金融・銀行・保険学部、会計・監査学部、テキスタイル&ファッション学部、電気工学部、電子工学部、情報技術学部等を有する。 現在約6,000名の学生が在籍。
④ タイグエン大学 (タイグエン市)	1994年設立の国立大学。ベトナムの首都ハノイの衛星都市、タイグエン市に所在。教育学、工学、農学及び森林科学、医学及び薬学、理学、経済学、情報工学等のカレッジを有し、英語による教育プログラムも多数実施。情報工学カレッジには、現在約10,000名の学生が在籍。
⑤ ホアセン大学 (ホーチミン市)	1991年に情報技術および経営ホアセン専門学校として設立され、2006年に私立大学として大学教育を開始。 現在は、経済経営学部、情報工学部、デザイン学部、観光学部、社会科学部、国際言語文化学部、金融銀行学部、ロジスティクス学部を有し、現在約15,000名の学生が在籍。